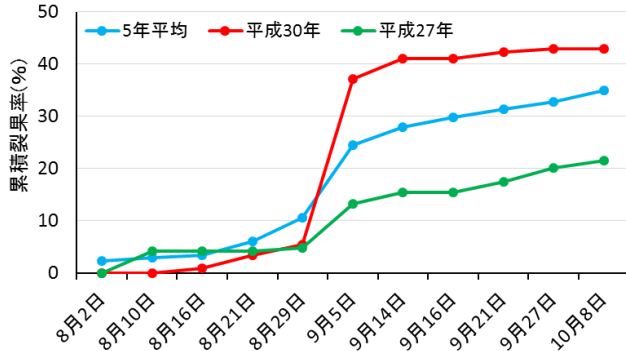


‘甘平’の裂果軽減対策

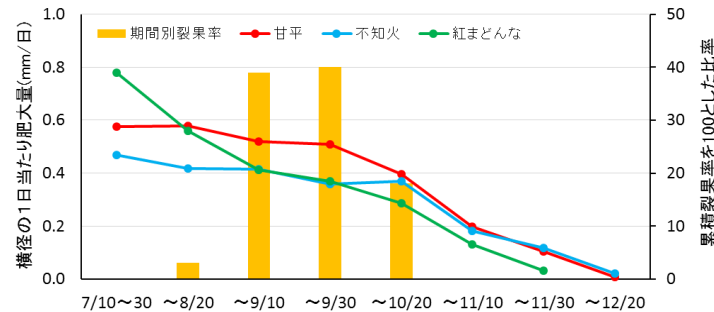
裂果を軽減させるには、開花期から果汁増加期(5~9月)にかけて少量多頻度かん水を実施し、
 土壌水分の急激な変化を避けることが重要。

裂果の年次間差



年により裂果の多少がある。
 その原因の一つは、夏期の降雨量の差が考えられる。

果実肥大と裂果

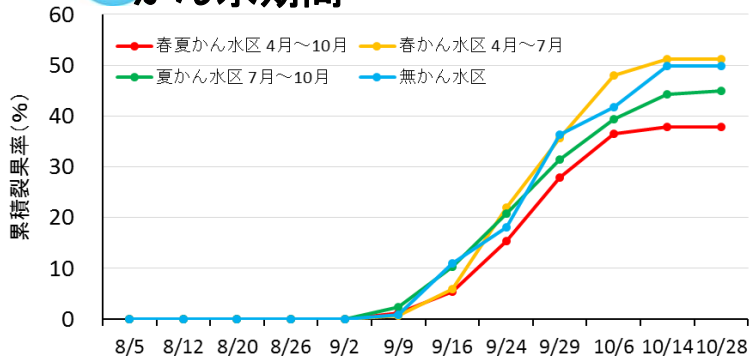


裂果のピークは9月中旬。
 甘平の果実肥大は旺盛。

甘平の裂果を軽減させるには

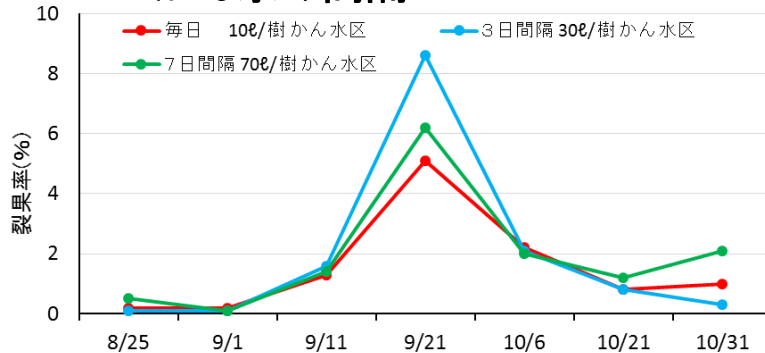
- ◆ 開花時期からの少量多頻度かん水が有効
 - ◆ 夜間の果実肥大を抑制させるために朝方かん水
 - ◆ 樹を落ち着かせ、仕上げ摘果は3割多めに残す
 - ◆ 遮光ネット等により高温を緩和
- 裂果は多様な要因が絡み合って引き起こされると考えられるので、園地環境に応じた対策を講じる

かん水期間



春夏のかん水が有効

かん水の間隔



毎日のかん水が裂果を抑制

点滴チューブの配管



※かん水期間は7月下旬~10月上旬